

第 69 回西九州小中学生書道大会即席大会 ダブル受賞

《文部科学大臣賞》 小松 愛菜さん (御厨小 1 年)

《長崎県知事賞》 小松 玲雄さん (御厨中 1 年)

8 月 31 日に佐世保市で開催された第 69 回西九州小中学生書道大会即席大会において、小松愛菜^{あいな}さんが文部科学大臣賞、小松玲雄^{れいゆう}さんが県知事賞を受賞し、兄妹でダブル受賞となりました。

同大会には、県内外の小中学生 3,402 人が応募。応募作品の中から地区代表に選出された 394 人が、県内各地区で行われた即席大会に臨みました。当日は、事前に伝えられた課題を制限時間 1 時間の中で、お手本なしに用紙 10 枚を書きあげ、自分で提出する作品を選びます。

愛菜さんは「『ふじ』の『ふ』の字のつながりを書くのが難しかった。お兄ちゃんと同じように賞がとれてうれしかった」と笑顔で受賞の喜びを話しました。

玲雄さんは「中学生になり、部活もあるため以前より練習時間が減ったが、一生懸命頑張って取り組んだ」と振り返りました。

また、10 月 4 日に開催された JA 共済小・中学生書道コンクールの県審査会においても、玲雄さんが特別賞の長崎放送賞、愛菜さんが特別賞の中央会会長賞を受賞しています。

日々練習に励み、互いに高めあう二人の今後の活躍が期待されます。



令和元年度松浦市体育協会体育功労賞表彰

松浦市体育協会体育功労賞の表彰式が 10 月 31 日、松浦市生涯学習センター（きらきら 21）で行われました。この表彰は、本市のスポーツの振興を図ることを目的に毎年実施され、スポーツの普及・発展へ大きく貢献した個人や団体に贈られるものです。

受賞者は次のとおりです。(敬称略)

【松浦市体育協会体育功労賞（個人の部）】

○松浦市陸上競技協会

吉住 正和（鷹島・阿翁浦、51）

○松浦市ソフトテニス連盟

丸田 憲昭（志佐・上高野、64）

○松浦市空手道協会

大宅 貴光（志佐・辻ノ尾、45）

○松浦市卓球協会

神田 稔（鷹島・三里、64）

○松浦市卓球協会

瀬尾 幸久（御厨・札場、52）



全国老人クラブ連合会 2019年活動賞受賞

里不老会（世代間交流活動）、今福町長寿会連合会（健康づくり活動）

志佐町の「里不老会」および今福町の「今福町長寿会連合会」が、公益財団法人全国老人クラブ連合会の2019年活動賞を受賞しました。

里不老会は、老人クラブのボランティア活動の一環として、地域の小学生に米作り体験や芋植え体験などの学習支援を30年程前から行っており、地域の産業を生かした世代間交流に長年取り組んでいることが高く評価されました。

今福町長寿会連合会は、いきいき100歳体操や「今日の言葉」の音読、合唱などを通して、地域高齢者の健康づくりや生きがいづくりに取り組み、介護予防や閉じこもり防止活動に貢献したことが高く評価されました。

両団体は、「地域の一員として役立つ老人クラブ」を目標に、今後も活発に活動を継続されます。



▲里不老会 永淵勝幸^{かつゆき}会長(写真右)
今福町長寿会連合会 二村英喜^{ひでき}会長(写真左)

令和元年度日本スポーツ少年団顕彰受賞

松浦少年野球クラブ

松浦少年野球クラブが、令和元年度日本スポーツ少年団顕彰を受賞しました。

スポーツ少年団は、昭和37年に公益財団法人日本スポーツ協会（当時は財団法人日本体育協会）が創設した日本最大の青少年スポーツ団体です。

松浦少年野球クラブ（田中公省^{こうせい}監督）は、松浦市内の各小学校児童で結成され、平成21年に松浦市スポーツ少年団に加入しました。部員および保護者などとの相互の親睦を図り、それぞれの地域でも青少年健全育成にも積極的に参加し貢献。定期的に活動拠点でもある松浦市民運動公園の清掃および除草作業を行うなど、県内外スポーツ少年団とも常に親睦を図り技術力向上にも注がれています。県大会優勝・全国大会3位など各種大会で好成績を残されるなど、これまでの活動が高く評価されました。



令和元年度地域伝統芸能大賞 保存継承賞受賞

《保存継承賞》平戸神楽振興会

平戸神楽振興会（木田昌宏^{まさひろ}会長）が、一般財団法人地域伝統芸能活用センターの令和元年度地域伝統芸能大賞保存継承賞を受賞しました。

地域伝統芸能大賞は、多年にわたり地域の生活の中で民衆の手によって受け継がれ、地域固有の歴史、文化等を色濃く反映した地域伝統芸能等の保全や活用を通じ、観光または商工業の振興に顕著な貢献が認められる個人または団体を表彰するものです。

平戸神楽は、元禄時代の平戸松浦家29代鎮信^{しげのぶ}（天祥）の代に、家臣の橘三喜^{みつよし}が全国の一の宮の参拝を試み、見聞した神楽の粋を集めて作った神楽で、国の重要無形民俗文化財に指定されています。神社の氏子らによって設立した同会は、平戸神楽の実演以外でも、後継者育成のため小学生から高校生を対象とした講習会を実施するなど保存継承の取り組みを行われており、当市からも多くの市民が加入されています。



▲市役所での受賞報告